



すごいぞ！柏プロジェクト！

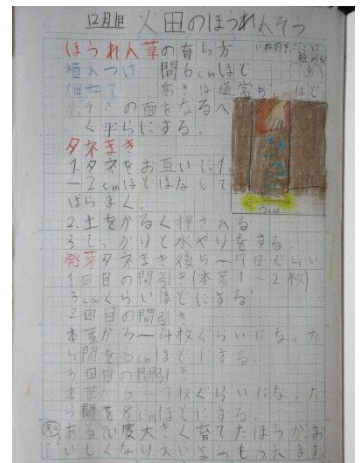
2021年12月8日 第11号

第2弾 かぶか、ほうれん草か。

総合的な学習の時間の学習活動は、子どもたち自身が見いだした課題や目的をもとに、3年生みんなで話し合って決定しています。**第1弾のかぶ**を収穫し、パーティーを成功させた今、新たな課題は**第2弾**の栽培の取り組みについてです。

第1弾の栽培では、発芽の段階で数が減ってしまったり、葉が虫に食われたりするなどして、畑の半分ほどしかかぶが育ちませんでした。また、近藤さんのすばらしい畑やかぶを見たことで、「**自分たちももっと立派なかぶを育てたい！**」というリベンジの気持ちが高まりました。

そこで、各クラスで今後どんな活動がしたいか、パーティーをした日の午後、ふりかえり活動を行いました。すると、「**もう一度かぶを育てたい**」という多数の意見に加え、市役所の上出さんに教えていただいた“柏市の**三大野菜**”の1つである「**ほうれん草を育てたい！**」という考えもあがり、意見が分かれました。かぶの収穫量が減ることや、育て方がわからないほうれん草に反対意見もありました。すると、ほうれん草の育て方について、自主的にノートに調べてくる子がおり、かぶと同じ備えで冬場に育てられることがわかりました。そして、1, 2組の実行委員で最終的に話し合い、かぶに加え、ほうれん草も一緒に育てることに決定しました。



最後に残ったかぶは先生たちに向けて販売

お世話になった方々へと届けたかぶ。さらに残ったものについては、職員室で先生たちに販売することにしました。子どもたちはかねてより「**お店を作って売りたい**」という考えを出していました。しかし、第1弾の生育状況を見ると、「これではお店では売れない」「まだまだ量が足りない」などと考え、お店での販売は見送りました。そこで、まずは先生方を買ってもらおうと考え、わずかに残ったかぶは、職員室で売ることに決めました。



この販売には、もう1つ大切な意味がありました。それは、新たな**農業用具**を買うためのお金を集めることです。これから第2弾の作物を育てるにあたり、冬の栽培には寒さ対策の用具が必要になります。その1つが**マルチ**です。マルチは1巻き800円ほどです。先生たちを買ってもらったそのお金で、子どもたちはマルチを買うことを計画しました。

職員室では、3年生の子どもたちの活動へ興味をもったたくさんの先生たちがかぶを買ってくれました。そして、残ったかぶ全てを完売し、**1300円**を売り上げました。

後日、この収益金を使って、**マルチ**と**ほうれん草の種**を買いました。種は、かぶ同様に柏駅近くの**恩田種苗店さん**におすすめの品種を聞き、「冬ごのみ」という品種の種を購入しました。